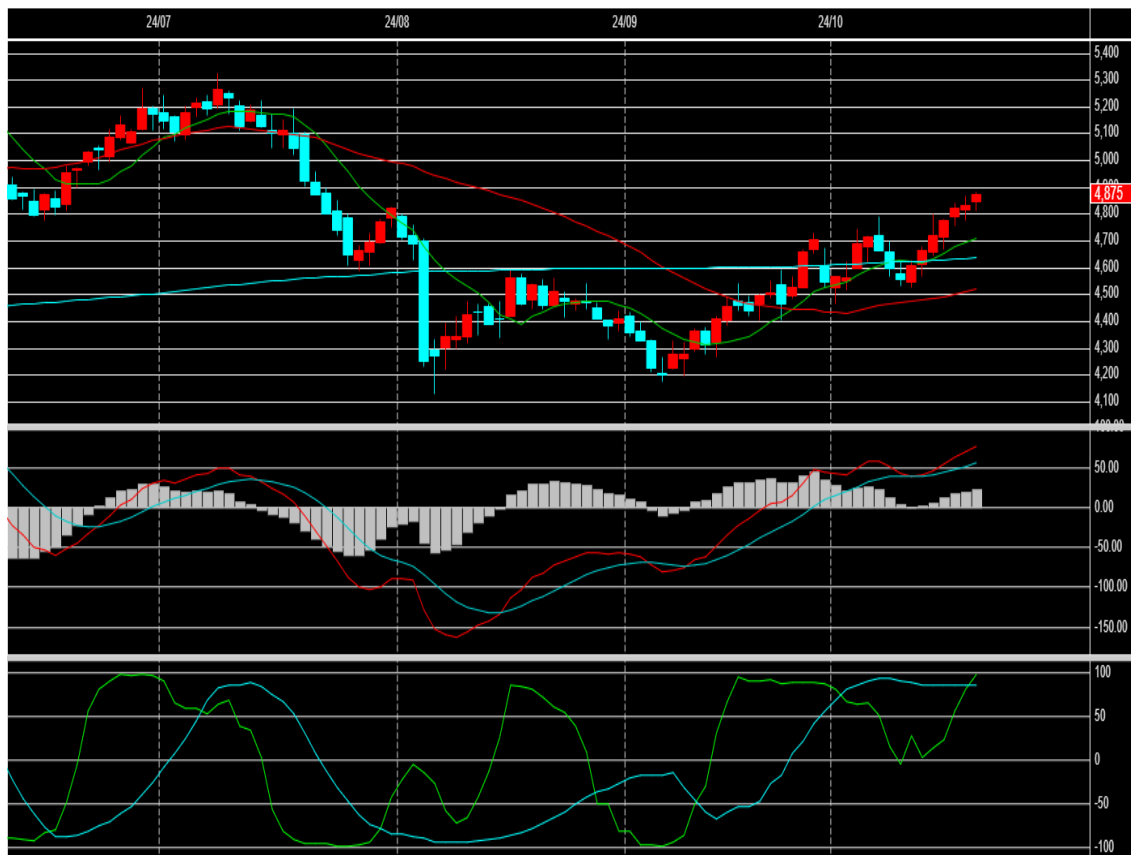


<白金標準、7月の高値 5326 円へ向けた戻り相場・・・>



(出所：オアシス)

中国人民銀行は証券会社・ファンド・保険会社が株式購入の 5000 億元（706 億ドル）の流動性を提供する「スワップ・ファシリティ」を立ち上げるなど、株価対策を発表している。また中国財新は、中国政府が 3 年間で 6 兆元（127 兆円）の超長期の特別国債を発行する可能性に言及するなど、中国政府が景気刺激策を強めて来る動きを報じている。週末に習近平主席は、テクノロジー重視の姿勢を示すと香港株が 3% 高を演じるなど、市場は歓迎する動きを見せている。特に米国でも小売売上高が大きく反発し、景気減速懸念を払しょくするなど、景気商品の白金標準先物にとって米国のリセッション回避や中国の景気刺激策の高まりは、白金価格を押し上げる動きに結び付いており、週末には 4885 円まで高値を試すなど基調は 7 月の高値である 5326 円へ向けた値動きに思われる。

特に 10 月中に中国では全人代常務委員会の開催が予定されており、景気刺激策の金額が示される可能性は高まると思える。また新甫 10 月限の発会も控えており、発会后に高値追いを続ける可能性は 8 月限同様に高まると思え、強気を維持するのが妥当に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** の上昇を続け、RCI では **短期** が上昇し、**長期** は高値を維持している。そのためオシレーターは強気を維持しており、4700 円への修正安があれば買いのエントリーチャンスと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,368,000 円(2024 年 10 月 21 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2024 年 10 月 21 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>